

洛西だより



# 竹の子

「自立・貢献・夢さがし」～誇りをもって、自らの未来を切り拓く、たくましい生徒を育てる～

令和3年1月5日発行  
京都市立洛西中学校  
文責：校長 高垣明夫  
第11号



## 令和3(2021)年、丑年がスタート！

新年、あけましておめでとうございます。令和3(2021)年、丑年がスタートしました。牛は古くから農業や酪農で人間を助けてくれた大切な動物でした。大変な農作業を最後まで手伝ってくれる働きぶりから、丑年は「我慢強い（耐える）」、「これから発展する前触れ（芽が出る）」というような年になるといわれています。

令和2(2020)年は、新型コロナウイルス・パンデミック（世界的大流行）によって、世界中が多くの困難に見舞われました。令和3(2021)年は、皆でコロナ禍を克服し、その中から数々のイノベーション（世の中の変化に気づき、その変化に合わせ、新しいやり方に変えていく）が生まれ、希望に満ちた年になれば嬉しく思います。



洛西中学校ではコロナ禍のため、今までの学校祭体育の部・文化の部を見直し、新しいやり方（規模の縮小・感染症対策の徹底など）に変えて実施することができました。また、オンライン（Zoomの活用）によって、始業式や終業式、生徒総会や生徒会役員選挙、2年生の授業（学年閉鎖期間）などを実施し、ピンチをチャンスに変えてきました。2・3月には1～3年生全員に一人一台のパソコンが、教育委員会より支給されます。来年度4月からはそれを活用して、一人一人がより良い学びを行っていけるように、また、臨時休業など時には、それを使って授業を家庭に届けられるようにしていきます（GIGAスクール構想）。さらに4月からは新しい学習指導要領（全国のどの地域で教育を受けても、一定の水準の教育を受けられるようにするため、各教科等の目標や大まかな教育内容を定めたもの）が、全面実施されます。実際の社会や生活で生きて働く「知識・技能」、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力」、学んだことを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性」、この三つの力をバランスよく育んでいきます。そのために、一つ一つの知識がつながり「わかった」「おもしろい」と思えるような、見通しをもって粘り強く取り組む力が身につくような、周りの人と共に考え、学び、新しい発見や豊かな発想が生まれるような、自分の学びを振り返り、次の学びや生活に生かす力を育むような、そのような授業を行っていきたいと考えています。



## まとめの3学期、次年度への助走の3学期！

3学期  
スタート！



3学期は1年のまとめの学期ですが、「1月はいぬ、2月は逃げる、3月は去る」というように、とても早く過ぎ去っていきます。1日1日を大切に、1年のまとめをしっかり行ってほしいと思います。そのことが引いては、より良い次年度の始まりにつながります。

3年生は、中学校生活のまとめを行うと共に、中学校の最終目標である自らの進路実現に向けて取り組んでいきます。願書点検、出願、受験票の受理、入試当日、結果発表と続いていきます。提出書類の期限を守り、今まで培ってきた力が如何なく発揮できるように、体調管理に努め、1日1日を大切に過ごしてほしいと思います。2年生は、今の3年生の姿が来年の自分たちの姿であると認識し、4月の3年生のスタートがスムーズにきれるように、着実にまとめと準備を進めてほしいと思います。1年生は、この1年間で本当に中学生らしくなってきました。自ら考え行動できる力をさらに高め、中核学年の2年生になる準備をしてほしいと思います。皆さん、頑張ってください。



# 地域で活躍している洛西中学生！

境谷児童館からいただく「さかいだにじどうかんだより 12月号」に、嬉しい記事が載っていましたので、皆さんに紹介します。

児童館は、0歳から18歳までのこども達のための居場所です。乳幼児クラブに来ていた子が小学生になって学童クラブに入って来たり、小学生のときに遊びに来ていた子が中学生や高校生、大学生になっても顔を見せに来てくれたりと、こども達の成長を長期間見守ることができるのも児童館のよさです。ある日、久しぶりに顔を出してくれた中学生のAくん。職員の動きを真剣に目で追っていると思っていたら、ぽつりとひとこと、「先生たち大変やな。俺でよかったですこれからときどき手伝いに来るわ」。それから勉強や部活に忙しい合間を縫って、時間を作っては手伝いに来てくれるようになりました。小学生のときは、感情豊かに泣いたり怒ったり、その都度友達や職員に思いを聞いてもらっていました。自分の経験を活かして、今ではとても上手に小学生の遊びをリードし、話を聞いてくれています。一緒に来てくれている中学生も、児童館で一緒に大きくなった仲間達。みんなとても素敵なお兄さんになりました。彼らの顔を見ると、職員も元気をもらいます。いつもありがとうございます！



小さいときにお世話になった児童館の先生方に恩返しのつもりで、自ら主体的にお手伝いをしている洛西中学生がいることを、とても嬉しく誇りに思います。本校の学校教育目標「自立・貢献・夢さがし～誇りをもって、自らの未来を切り拓く、たくましい生徒を育てる～」には、このように地域で貢献できる姿が含まれています。今後も児童館をはじめ、地域活動の色々な場面で活躍できる人が、増えていってくれることを願っています。

また、「さかいだにじどうかんだより 1月号」には、次のような記事が掲載されました。

◆中高生世代と赤ちゃんの交流事業◆ 洛西中学校3年生の手作りおもちゃで乳幼児さんが遊びました。色とりどりの個性的なおもちゃに、歓声を上げて喜ぶ姿が見られました。

★卓球クラブ★ 卓球クラブではラケットの持ち方などの基礎からしっかり練習しました。中学生のお兄さんにとっても優しく教えてもらい、大満足のこども達でした。

まさに新しい学習指導要領が求めている、「知識・技能」が実際の社会や生活で生きて働いている場面ですね。今後も学んだことを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性」を、磨いていってほしいと思います。



## 他律から自律へ、そして自立へ！



「人として、行つてはならないこと」や「集団や社会のルールを守ること」など、小学校低学年のときには先生や保護者から教えてもらい、善悪の判断や規範意識の基礎を形成してきました。小学校高学年から中学生になると、集団における自分の役割の自覚や主体的な責任意識が芽生え、人から言われなくても自分で考え、正しい判断に基づいた行動ができるようになります。また、自己を見つめ、自らの課題と正面から向き合い、自己の在り方を思考するようになります。そして、社会の一員として他者と協力し、自立した生活を営む力が身についていきます。



## 思い出に残る素晴らしい卒業式にしたい！

3年生は、進路実現に向けて頑張っていますが、その先に3月15日の卒業式が待っています。洛西中学校で共に学んだ仲間と、素晴らしい卒業式にしましょう。そして、1・2年生が主体となる「3年生を送る会」が、コロナ禍のためどのような形になるか今はわかりませんが、心のこもったものになることを念願しています。

